

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	熱中症予防情報の提供とモニタリング	事業開始年度	平成18年度	作成責任者
担当部署	水・大気環境局	担当課室	大気生活環境室	大気生活環境室長 土居健太郎
会計区分	一般会計	上位政策	大気・水・土壌環境の保全	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	—	

事業の目的
(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)
温熱環境の体感指標のひとつであるWBGT(Wet Bulb Globe Temperature :暑さ指数)の予測値等、熱中症に関する情報をインターネットを通じて提供をすることで、熱中症による国民の健康被害を未然に防止することを目的としている。

事業概要
(5行程度以内。別添可)
・WBGTの推計精度を向上させるため、WBGTの実測モニタリングデータと日射量や日照時間を用いて算出したWBGT推計データを比較・分析することによりWBGTの推定手法を検討。
・実際の生活の場におけるWBGTと気象台におけるWBGTの違いを把握するため、新たにオフィス街や住宅地等に観測機器を設置し、モニタリング(比較観測)を実施。
・気象庁情報を用いてWBGTの予報値を算出し、WBGTの実測値や熱中症患者数の速報値等と併せて、インターネットを通じて情報を提供。

実施状況
・東京、新潟、名古屋、大阪、広島及び福岡の6箇所の気象台に観測機器を設置し、平成21年6～9月末までWBGTのモニタリングを行い、データを解析することでWBGTの推定手法を検討した。
・練馬区と八王子市のアメダス観測地点にそれぞれ1箇所ずつ観測機器を設置し、平成21年6～9月末までのWBGTのモニタリングを実施した。
・千代田区丸の内内の駐車場と交差点にそれぞれ1箇所ずつ観測機器を設置し、平成21年7～9月末までWBGTのモニタリングを実施した。
・新たに設置した各地点での観測データを、気象台の観測データと比較することで、場所毎におけるWBGTの差について分析した。
・インターネットを通じて6～9月までの期間、当日と翌日分の3時間毎のWBGTの予報値を提供した。(※「熱中症予防情報サイト」の平成21年6～9月のアクセス件数・約160万件)

予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	11	10	17	17	
	執行額	11	10	15	/	/
	執行率	100%	100%	88.2%	/	/
	総事業費(執行ベース)	11	10	15	/	/

自己点検
支出先・用途の把握水準・状況
・観測に不具合が発生した場合、請負者から速やかに報告と対応方法について連絡を受ける体制をとり、観測を実施した。
・予報値の提供期間中はホームページの更新状況を随時確認し、不具合が生じた場合は、至急対応する体制をとり、運用した。
・比較観測地点については、環境省担当者と請負者が現地調査し、十分な精査を行った上で決定した。

見直しの余地
・WBGT実測データの測定ポイントを大幅に増やすことが難しい中、推計の精度を高めることにより、更に充実した情報提供を実施することが必要。

予算監視の効率化	
補記	

環境省
15百万円



【随意契約】

A.独立行政法人国立環境研究所
15百万円

- ・WBGTのモニタリング及びWBGTの推定手法の検討
- ・WBGTの比較観測の実施
- ・WBGT予報情報値の提供

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.独立行政法人国立環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	WBGT観測による熱中症予防情報 の提供業務	15			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)